

## ●メンテナンス(補修・補強)事例

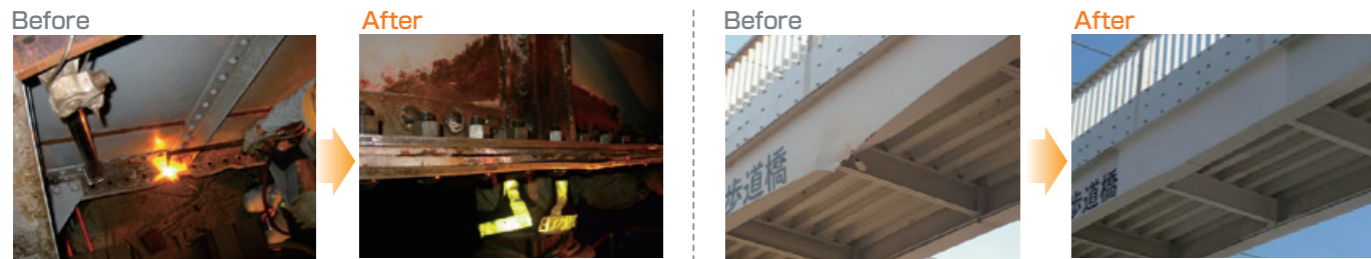
### 事例 1 腐食補修例 腐食した部材を新規部材に交換



### 事例 2 亀裂補修例 亀裂箇所に鋼板を当てて補修



### 事例 3 変形補修例 変形した箇所を加熱矯正で補修



### 事例 4 耐震対策例 橋門耐震補強工事、桁と橋脚をケーブル連結



### 事例 5 耐力補強例 耐力不足に対して主構トラスの増設、耐震性向上プレースの取り替え



橋梁の長寿命化をサポートする  
J-Fabのメンテナンスシステム

[リブリ]  
**Re-BRI**<sup>TM</sup>

#### Re-BRIの特長

- 鋼橋を知り尽くした私たちが提供する安心のシステム
- 点検・計測、診断から始まる万全なメンテナンスサイクル
- ひとつひとつのプロセスにおける、的確な技術・工法の提供
- 定期点検と必要に応じた施工による、橋梁の長寿命化のサポート





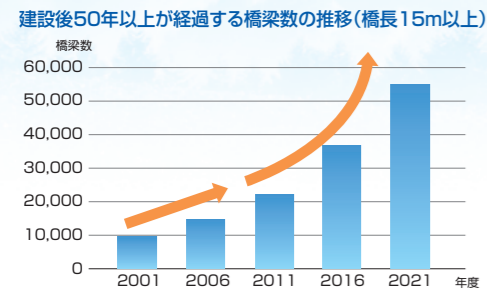
# 補修・補強工事で50年以上の実績をベースにした、鋼橋メンテナンスのワンストップサービスです。

社会のインフラストラクチャを担う橋梁において、建設後50年以上経過する橋の割合が急速に増加しています。人・クルマ・鉄道「安全・安心」を支えるために、定期点検はもちろん、適切な補修・補強をおこない橋梁の長寿命化を図る時代を迎えています。

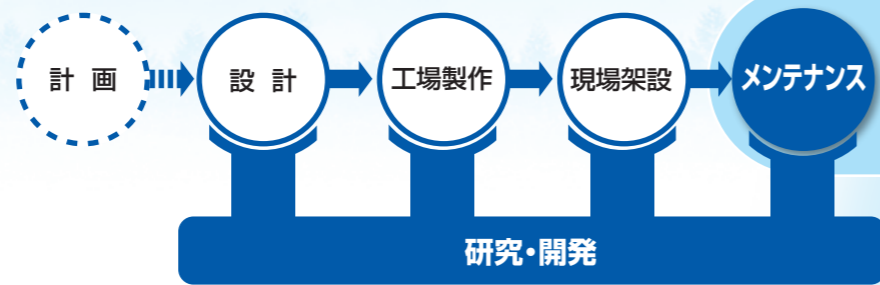
Re-BRI [リブリ] は、このような時代の要求に応えられる鋼橋メンテナンスシステムとして、橋梁総合メーカーだからできる点検・計測、診断、計画から施工まで一連のプロセスをワンストップサービスで提供していきます。

私たちは100年近くかけて積み上げてきた信頼の技術力と、これまでに施工した補強・補修工事で培った豊富なノウハウを活かし、橋梁の長寿命化とライフサイクルコストの削減を強力にサポートし社会基盤の整備に貢献していきます。

## ●高齢化するわが国の橋梁 (資料:国土交通省)



## ●橋梁における当社の事業領域



## 数字で示すメンテナンスの実績

# 50年

### 鋼橋メンテナンスを手掛けて50年

私たちは、1968年(昭和43年)に橋脚補強工事を初めて手掛けてから、50年以上かけて700橋を超える補修・補強工事の実績を積み上げてきました。そして、数多くのメンテナンスに関する技術力とノウハウを培ってきました。



# 130年

### 日本最古の鋼鉄道橋のメンテナンス

「箱根登山鉄道早川橋梁」は、1888年(明治21年)に英国で製造された天竜川橋梁の一部が現在の場所へ移設されたものです。私たちは、130年の風雪に耐えてきた日本最古の鋼鉄道橋のメンテナンスを手掛け、この橋の安全を見守ってきました。



# 500橋

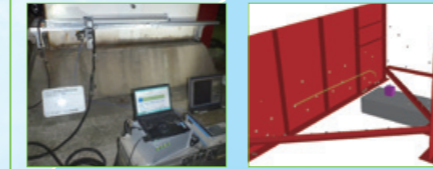
### 各路線の橋梁点検実施

長年のメンテナンス実績と高い技術力が評価され、民営鉄道各社から路線すべての鋼橋点検業務を受けて実施しています。その総数は500橋を超え、実施した点検結果を基に適切な診断で橋梁の安全確保に貢献しています。



- 豊富な経験とノウハウを持つ技術者による目視点検を実施
- 必要に応じて各種機器を使用した計測・測定を実施

### 〔当社保有計測・測定機器例〕



バウンダリーチェッカー PIXIS/Plus (ピクシスプラス)



- 橋梁ごとの特性と劣化損傷などの変状を記入し橋梁データを作成

## 橋梁データの作成



- 点検・計測結果とエキスパートによる経験則で診断し総合的に健全度を判定

## 健全度の判定

## 点検・計測



# Re-BRI

## 定期点検・診断



## メンテナンスサイクル

## 施工



- 施工完了後、橋梁データを更新。その後も定期的な点検・診断を実施



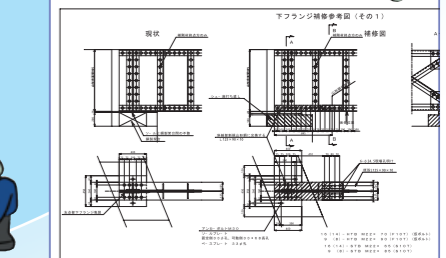
- 時間的・空間的な制約条件の中から最適な工法を選択して安全・安心な工事施工

### 〔当社開発工法例〕



Uリブ鋼床版下面補強工法

## 補修・補強計画



- 健全度判定に基づきこれまでの経験を活かした補修・補強方法を立案
- 投資効果を考えた補修・補強計画を提案